

# 1 ビジョンの役割

## ビジョンの必要性

- 社会が大きく変化し、コロナ禍でも様々な課題が浮き彫りに
- 兵庫のめざす姿を指し示す新しいビジョンが求められている

## 基本的な性格

- 県民が共にめざす姿を描くビジョン
- 県民が主役になり、地域から取り組むビジョン
- 変化を生み出し、成長するビジョン

## 展望年次

- 私たちの子や孫が生きる30年先の2050年頃のめざす姿を描く

## 県政上の位置づけ

- 県が進める政策の羅針盤として運用

## 全県と地域

- 全県ビジョンと一体的に9つの地域ごとの地域ビジョンを策定

### HYOGO VISION 2050

#### (1) 新しいビジョンの必要性

大きな社会変化により先の見通しがますます難しくなってきました。コロナ禍でも社会の様々な課題が浮き彫りになりました。これから私たちはどこに向かって進んでいけばよいのでしょうか。兵庫のめざす姿を指し示す新しいビジョンが今求められています。

#### (2) 基本的な性格

##### ①県民が共にめざす姿を描くビジョン

未来は私たちの手で創るものです。より良い未来を創るためには、現在の延長線上に予測される未来像ではなく、県民一人ひとりがなりたい姿=理想の将来像を思い描く必要があります。そうした県民のなりたい姿が叶う未来のイメージから、県民が共有する、共にめざす社会の姿を描き出すのがビジョンの役割です。

##### ②県民が主役になり、地域から取り組むビジョン

多様な主体が共に実現をめざして取組を進めるビジョンをめざします。主役は一人ひとりの県民であり、ビジョンに共感し、兵庫に関わるすべての人です。

個性豊かな多様な地域からなる兵庫。決して一様ではない、それぞれの地域のめざす姿の実現に向けて、地域から主体的に取組を進めることが大切です。

県はそうした取組を促し、支えます。

#### ③変化を生み出し、成長するビジョン

作って終わりではなく、成長し続けるビジョンをめざします。問題は未来のために今何をするか。ビジョンを具体的な行動につなげることが大切です。ビジョンの実現に向けたプログラムや行動を生む仕掛けをつくり、状況に応じた見直しにも柔軟に対応します。

#### (3) 展望年次

理想の実現には長い時間がかかります。私たちの子や孫が生きる社会をより良いものにするために今後何をすべきかを考える拠り所とするため、一世代後の30年先、2050年頃のめざす姿を描きます。

#### (4) 県政上の位置づけ

このビジョンは県政の基本指針となるものです。計画の目標にビジョンのめざす姿を織り込むなど、県が進める政策の羅針盤として運用していきます。

#### (5) 全県ビジョンと地域ビジョン

兵庫県の強みは地域の多様性です。この強みに磨きをかけるため、県全体の骨太な将来像を提示する全県ビジョンと一体的に、9つの地域ごとの将来像と行動目標を示す地域ビジョンを策定し、各地域の個性を伸ばす新しい取組につなげます。

## 2 社会変化の潮流

### 人口減少・超高齢化

- 減る人口  大都市への人口集中
- 人口の高齢化、伸びる寿命

⇒ 人口が減っても豊かな兵庫をつくる

### 世界の成長と一体化

- 人口も経済も大きくなる世界
- つながり合い一つになる世界

⇒ 世界とのつながりを地域の活力源に

### 地球からの警鐘

- 気候変動  頻発する災害
- 感染症の流行  資源の枯渇

⇒ 未来の暮らしを守るために直ちに行動を

### 経済構造の変容

- 経済活動の「非物質化」
- 富の集中と格差の拡大

⇒ 公正で持続可能な経済社会をつくる

### テクノロジーの進化

- 時間や空間の制約を取り除くICT
- 生命の概念を変えるテクノロジー

⇒ テクノロジーを暮らしの向上に活かす

### 価値観と行動の変化

- 持続可能性重視  所有から利用へ
- 固定から流動へ  画一から多様へ

⇒ 新しい価値観・行動様式を根付かせる

## HYOGO VISION 2050

### <6つの大潮流>

今後の社会変化の潮流は大きく6つ考えられます。

#### (1) 人口減少・超高齢化

本県の人口は長期的に減り続ける見込みです。その中で人口の偏在化が進み、県民の寿命がさらに伸びて高齢化も進みます。人口減少＝衰退のステレオタイプの発想を改め、定住人口が減少する中でも、交流人口に恵まれ、質の高い豊かな暮らしが営まれる兵庫をつくるのが大切です。

#### (2) 地球からの警鐘

地球全体が暑くなり、異常気象の常態化など社会に後戻りのできない変化をもたらす恐れがあります。次の世代により良い環境を引き継ぐためにも、災害や感染症から身を守るためにも、地球からの警鐘を受け止め、直ちに行動に移すのが大切です。

#### (3) テクノロジーの進化

ICTや生命科学などの進化が時間・空間・身体の制約を取り除き、私たちの暮らしや社会を大きく変えていくでしょう。新しいテクノロジーのリスクにも配慮しながら、その可能性を豊かな暮らしやより良い社会の実現に活かしていくのが大切です。

#### (4) 世界の成長と一体化

世界はアジア、アフリカを中心に今後も成長が続く見込みです。インターネットで世界は一つに結ばれました。古くから海外に開かれた窓として発展してきた兵庫だからこそ、世界との交流を深め、そのつながりを地域づくりの原動力にしていくのが大切です。

#### (5) 経済構造の変容

価値の源泉が工場設備などの有形資産から知識や技能などの無形資産に移り、人的資本投資が企業の将来を左右する時代になります。経済活動のいわば非物質化に対応して産業構造の変革を進め、公正で持続可能な経済社会をつくっていくのが大切です。

#### (6) 価値観と行動の変化

経済社会の新たな形を模索する動きやICTの普及を背景に、持続可能性重視、所有から利用へ、固定から流動へ、画一から多様へといった価値観と行動の変化が進んでいます。都市の脆弱性や社会の分断など様々な問題を再認識させたコロナ禍を時代の転機とし、新たな価値観や行動様式を根付かせ、多様な暮らし方、働き方が広がる地域をつくっていくのが大切です。

### 3 兵庫の強み

#### 五国の個性

□ 気候風土、歴史文化の異なる五国からなる県

**但馬** 日本海に面し積雪が多い。県最高峰氷ノ山等の山岳、変化に富む海岸線など自然美を誇る。

**播磨** 肥沃な播磨平野、豊かな播磨灘、世界遺産姫路城を擁し、県土の4割を占める広大な地域。

**淡路** 国生みの島。南北の大橋で四国と本州を結ぶ。古来より御食国と称され、今も農漁業が盛ん。

**丹波** 豊かな土壌を活かしたブランド農産物を生産。都会に近い田舎として移住者に人気。

**摂津** 港町神戸を中心に開放的な都市文化が根付く。市街地が広がり県人口の6割が集中。

#### 培ってきた地力

- 高度なものづくり産業
- 多彩な地場産業
- 世界有数の科学技術基盤
- 食の宝庫
- 防災先進県

#### 進取の気風 ~ 開放的な地域性 ~

- 古くから交流の結節点として栄え、海外の文化を先駆けて受け入れてきた地域
- 高田屋嘉兵衛、鈴木商店、賀川豊彦など進取の気性に富む人材・企業を生んできた地域



摂州神戸  
海岸繁栄之図



SPring-8とSACLA  
提供：理化学研究所



個性豊かな食材

#### HYOGO VISION 2050

##### (1) 五国の個性

兵庫は、気候風土、歴史文化の異なる摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の旧五国が一つになった県です。今に息づく五国の個性が兵庫県の強みです。

多様な地域が関わり合い、補完し合って発展してきた県だからこそ、これからは県内での活発な交流が新たな力を生み、兵庫に活力をもたらすでしょう。

##### (2) 進取の気風 ~ 開放的な地域性 ~

兵庫には古くは大輪田泊、中世以降は兵庫津と呼ばれる港があり、中国、朝鮮との交易の拠点として栄えました。鎖国下も国内交易の拠点として繁栄し、1868年の神戸開港後は日本を代表する国際貿易港として発展してきました。海外の文化を全国に先駆けて進んで受け入れてきた「進取の気風」が兵庫県の特徴です。

こうした開放的な地域性が、伝統的な価値観や固定観念に縛られずに新しい課題に挑む「進取の気性」に富む人材、企業を生み、世界へ送り出してきました。

##### (3) 培ってきた地力

###### ① 高度なものづくり産業

阪神・播磨臨海地域を中心に基礎素材型や加工組立型の高度な製造業が分厚く集積しています。

###### ② 多彩な地場産業

清酒、素麺、皮革、鞆、線香、釣針など全国トップシェアを誇る産業や、ケミカルシューズ、播州織、三木金物、淡路瓦など著名な産地があり、約40もの多彩な地場産業が県内各地に根付いています。

###### ③ 世界有数の科学技術基盤

スーパーコンピュータ「富岳」や大型放射光施設SPring-8、X線自由電子レーザー施設SACLAという世界有数の先端科学技術基盤を擁し、計算科学と光科学を中心にした知的創造拠点が形成されています。

###### ④ 食の宝庫

北は日本海、南は瀬戸内海、紀伊水道から太平洋に面する兵庫。気候風土の異なる多彩な土地が生む神戸ビーフ・但馬牛、山田錦、丹波黒大豆、たまねぎ、シラス、ホタルイカ、ノリなど個性豊かな食材は、兵庫発のブランドとして国内外で高く評価されています。

###### ⑤ 防災先進県

阪神・淡路大震災と、その後の度重なる災害を経験し、兵庫は安全で豊かなまちへと進化を続けてきました。兵庫が培ってきた防災・減災の知恵と技術は世界中の安全を守るために活かされています。

こうした強みが発揮されるビジョンをめざします。

## 4 策定の視点

### 県民の想い

- 多様な価値を認め、変化に柔軟に対応できる社会を
- 自分なりの生き方が選択できる自由度の高い社会を
- 人と人のつながりを育み、共に歩む「包摂」を
- 未来を担う次代のために社会の「持続」を

### 大事にしたいマインド 「開放性」

- 県民の想いに共通するのは、「開放性」の高い社会への強い願い
- 「開放性」は兵庫ならではの強みであり、今後も伸ばすべき特性
- 兵庫の未来は「開放性」をキーワードに描き、取り組むものに

### ビジョンの描き方

- 人口減少、テクノロジーの進化など社会変化の潮流を前提にして未来社会で営まれる生活や社会経済活動のめざす姿を描く

## HYOGO VISION 2050

### <県民の想い>

- 多様な価値を認め、変化に柔軟に対応できる社会を**  
これまでになく新しい価値観を受容し、認め合う中から、時代の変化に柔軟に対応できる社会をつくっていく必要があります。新しい発想や技術を取り込み、どんな課題に対しても、常識にとらわれず、創造的に乗り越えていける地域が求められています。
- 自分なりの生き方が選択できる自由度の高い社会を**  
コロナ禍で今までとは違う暮らし方、働き方があることに気付かされました。一人ひとりがもっといろいろな生き方を追求できる社会に変えていく必要があります。多様な選択肢から自分なりの道を選び取っている自由度の高い社会が求められています。
- 人と人のつながりを育み、共に歩む「包摂」を**  
孤立を生まない社会づくりを進めていくことが大切です。助けが必要な人々に寄り添って伴走する社会をつくっていく必要があります。人と人の確かなつながりが生まれ、誰も取り残されない、すべての人を包摂する地域が求められています。
- 未来を担う次代のために社会の「持続」を**  
地球の危機に向き合い、未来を担う次代のために持続可能な社会づくりを加速させる必要があります。多

様な地域からなる兵庫はその実践を行う絶好のフィールドです。人・モノ・情報・お金が循環するローカル経済圏をつくり、カーボンニュートラルな暮らしと経済を根付かせていくことが求められています。

### <大事にしたいマインドは「開放性」>

こうした県民の想いに共通するのは、もっと「開放性」の高い社会であってほしいという強い願いです。

物理的にも精神的にも壁のない社会。属性に関わらず一人ひとりの可能性が開ける社会。伝統的な価値観も大切に、対話を通じて互いに認め合う、他者に寛容な社会。そうした「開放性」の高いしなやかな社会の姿を描き出すビジョンが求められています。

「開放性」は兵庫の強みでもあります。交流の結節点として栄え、進取の気性を持つ人材を生んできた兵庫ならではの物語をこれからも紡いでいく。様々な壁が取り払われた未来を示し、その実現に向けて対話を重ね、みんなで合意形成して取り組む。「開放性」が根底に流れるビジョンをめざします。

### <ビジョンの描き方>

人口減少・超高齢化、テクノロジーの進化など社会変化の潮流を前提にして、未来社会で営まれる生活や社会経済活動のめざす姿を描きます。